

学校だより

六GOっ子

No. 19

平成31年2月1日

校長 小山 真一

(館林市立第六小学校 TEL 72-4060 ・ FAX 72-4072)

集中して書き初めに取り組む！

冬休み中に、3～6年生は宿題で書き初めの練習をしました。3学期早々、教室や体育館で書き初めを行いました。1、2年生はフェルトペンで、1年生は「お正月」、2年生は「元気にあいさつ」を書きました。3年生以上は大筆を使って井上先生の指導の下、3、4年生は1月15日(火)、5、6年生は1月16日(水)に体育館で書き初めを行いました。静まりかえった体育館の中で、みんな真剣に取り組んでいました。3年生は「美しい心」、4年生は「流れる星」、5年生は「進む勇氣」、6年生は「新たな決意」を書きました。これらの作品は、教室に掲示しますので、2月1日(金)、8日(金)の授業参観の際にご覧いただきたいと思います。



<書き方を学習し、集中して書きます！>

一年で最も寒い時期になりました！

1月20日(日)は、暦の上では二十四節気の一つ「大寒」にあたりました。一年の中で、この大寒から立春までの間が一番寒い時期だといわれています。昨年は大雪になったことを思い出します。子どもたちの学校生活に目を向けると、寒さに負けず元気いっぱいボール遊びやなわとび、鬼ごっこをしている姿を見ることができます。

この時期、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行る時期でもあります。六小では、今までに7学級の学級閉鎖を行いました。手洗いうがいなど、予防に心がけていただき、この寒い季節を乗り切りましょう。



<寒さに負けず！>

1年生 昔あそび！

1月23日(水)、24日(木)、1年生が生活科の「冬のあそび」で、凧あげや昔から伝わる遊びをしました。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんが各学級で協力してくださいました。お手玉、おはじき、あやとり、めんこ、ヨーヨー、コマ回し、はねつき、凧あげを教室や校庭で体験しました。

最近の子どもたちはゲームは得意でも、昔から伝わる遊びは初めて体験する子も多く、貴重な体験をさせていただきました。少子高齢化社会が進む一方で、おじいちゃん、おばあちゃんと同居している子どもたちは多くありません。様々な世代が共に活動し、お互いを理解していく交流「世代間交流」は、今後ますます重要性を増してくるものと考えます。この交流が長く続けられるようお願い申し上げます。



<おはじきをしています>

特別支援学級・特別支援学校合同作品展！

1月25日（金）26日（土）、三の丸芸術ホール展示室において、邑楽・館林特別支援学級及び特別支援学校 児童・生徒作品展が開催されました。今年で55回目だそうです。絵画、工作、習字、手芸等、子どもたちが日頃の教育活動の中で制作した作品が展示されていました。また、特別支援学校の生徒が製作した作品の販売も行っていました。本校児童11名の力作も展示されていました。

六小区かるた大会が行われました！

1月6日（日）、六郷公民館講堂において、六小区かるた大会が行われました。約50名の児童と役員の保護者の方々が参加し、熱戦が繰り広げられました。子どもたちは、年末から各単位子ども会で練習を重ねてきた成果を発揮して熱心に取り組んでいました。保護者の皆様には、群馬県の伝統的な文化に触れる機会を作っていただきありがとうございました。



<みんな真剣です！>

部門の優勝を紹介します。おめでとうございます。

- ・一般団体の部 あおぼし☆（今野瑞生さん 藤野直隆くん 早川咲季さん）
- ・低学年団体の部 MKR2（篠崎煌大くん 篠崎立輝くん 中山凜望さん 大美賀海来さん）

なお、この2チームと一般個人の部の尾崎天飛くん、低学年個人の部の栗原彩姫さんは、1月20日（日）に開催された館林市子ども会上毛かるた大会に六小区の代表として参加しました。

ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について

「六Gおっ子」でも何度か取り上げていますがケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について、保護者の皆様にはご理解・ご協力をいただいていると存じます。また、先日は5年生以上のご家庭に『我が家のきまり』アイデア募集のお願い』をしたところ、たくさんの応募がありました。保護者の皆様の関心の高さが伺え、ありがたく思います。新たなアイデアを含んだ「我が家のきまり」も配布しますので、参考にさせていただけると幸いです。

ネット依存、ネット被害、SNS等のトラブル、見知らぬ人との出会い等、たくさんのトラブルから子どもを守るのは、保護者の責務です。法律（青少年インターネット環境整備法）にも保護者の責務が規定されています。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

- ・子どものインターネット利用状況を適切に把握する。
- ・フィルタリング等の利用により、子どものインターネット利用を適切に管理する。
- ・子どもがインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める。
- ・不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する。

50のルール[44] うそをつかずに正直にしよう

「うそつきは泥棒の始まり」という言葉があります。平気でうそをついたり、盗みをしたりするような人間にならないように、正直で明るい人になりましょう。

50のルール[45] 相手の目を見て話をしよう

人と話すとき、言葉や声の大きさだけでは気持ちは伝わりません。

相手の目を見て話すことによって、自分の気持ちを相手に伝えることができます。

50のルール[46] きちんとした言葉づかいをしよう

「〇〇とかぁ」「△△みたいなぁ」、「××じゃん」というようなあいまいな言葉が若い人を中心にはやっていますが、こういう言葉を使っていると、大人になって正しい言葉が話せなくなります。

そうならないために、みんなは普段からきちんとした言葉づかいをするように心がけましょう。

50のルール[47] 怒る前に5秒間考えよう

友だちに何か言われて「かーつ」としたとき、そこで怒ってしまえばけんかになってしまいます。それを避けるため、苦しいけれど怒る前に5秒間考えてみましょう。